

i P a d を使用した
「F i s h O r d e r」の開発



TOSHIN

S U I S A N

東信水産とは？

首都型鮮魚小売店（全国42店舗）

創 業：1949年

売上高：92億円

本 店：荻窪タウンセブンB1階

主要取引先

三越・伊勢丹／東急百貨店／小田急百貨店／丸広百貨店／松屋／ピーコックストア

主要店舗

伊勢丹新宿本店／三越銀座／小田急新宿本館／丸広川越本店／Mark is みなとみらい
松屋銀座／松屋浅草



TOSHIN

S U I S A N

Copyright(C)TOSHIN SEA FOODS CO.,LTD. All rights reserved.

1. 導入前の課題

生鮮魚介類を販売している当社は、衛生面を重視した経営をしております。各店舗と本部のやり取りが主にFAXで行われてきました。店舗にたまった用紙やFAX用紙も問題の1つで鮮魚を触った手で用紙を触ればバクテリアが付着して繁殖することで細菌が発生しやすくなってしまいます。このような問題点からIT化をしようとパソコンの導入を考えましたが、デパートやスーパーにある店舗に設置すると、パソコンの内部が暖かく虫が生息しやすい環境が出来上がってしまいます。そのため、店舗へのパソコン導入をあきらめてました。

IT化できない為の問題例

全店舗の売り上げは手入力で集計するために本社のスタッフが2人がかりで対応し、作業が完了するのは最速でも2日後が限度、それでは、スピーディーな施策の展開が難かしくなっていた。



2. iPad用アプリ開発の背景

当社のIT化の解決の糸口となるのがタブレットデバイス（iPad）です。

iPadはファンレスで発熱も低く、タッチパネルを基本としているため取り回しも非常によいなど、問題点をクリアするのに十分なスペックを満たしていました。

iPadの導入するためには、OA操作が苦手なスタッフでも、大きな画面を見ながら直感的な操作で簡単に入力できるアプリが必要でした。

独自アプリの「FishOrder」の開発が始まります。

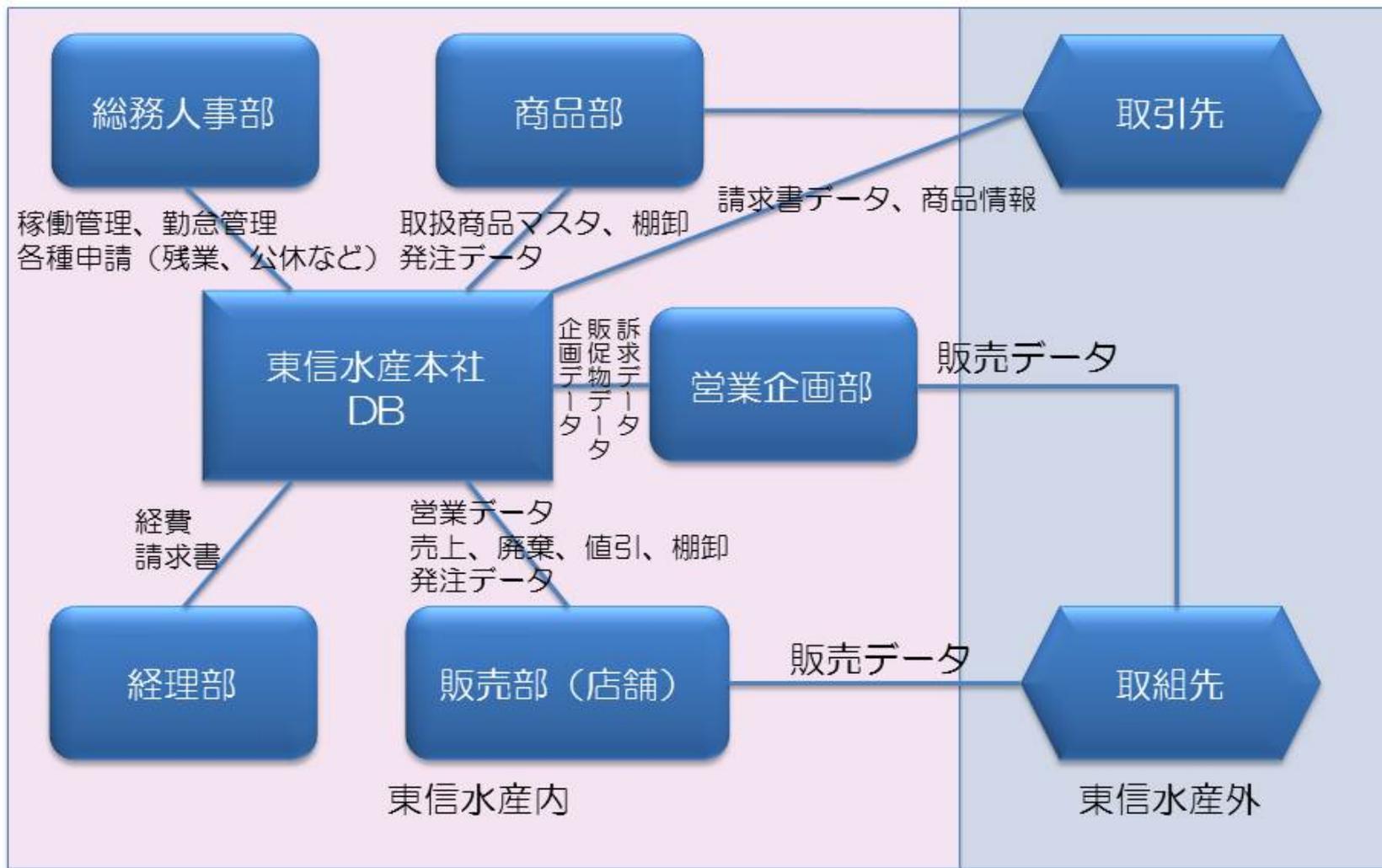
FishOrderは売上入力・棚卸・発注・伝票（発行及び保存）ができるアプリで処理がスピーディーでペーパーレスにするのに適しています。

問題例の解決

iPadとアプリ導入により売上集計まで2日間かかっていたものが翌日の午後には配信可能



3. システム化の全体



4-1. 売上報告・棚卸報告

<各店：iPad>

<東信DB>

本社：PC>

【売上報告Web】

東信水産 / 売上報告 [ログイン画面]

メニュー
アプリに戻る

売上入力

025 販売第3部 001 本店
2014年04月09日

2014年4月

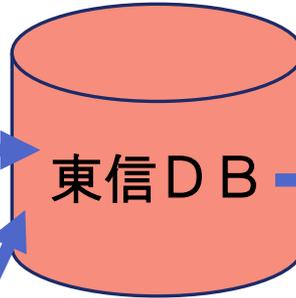
日月火水木金土
30 31 1 2 3 4 5
6 7 8 9 10 11 12 天気名 気温
13 14 15 16 17 18 19 快晴
20 21 22 23 24 25 26
27 28 29 30 1 2 3
4 5 6 7 8 9 10
本日 昨日

元売	
分店(元売)	

【棚卸報告アプリ】

棚卸確認

前月	次月	戻る
2014年4月	4/6	4/13
4/20	4/27	
鮮魚		
塩干		
寿司		
惣菜		
うなぎ		
惣菜・焼魚		
棚卸合計(税込)		
仕入累計(税別)		
売上集計		
売別数		
売別率		



【本部画面】

東信水産 / 売上報告(本部)

2014-03-31
2014-03-30
2014-03-29
2014-03-28

確認 2014-03-31 売上CSV出力

店番号	店舗名	売場1	売上1	売場2	売上2	売場3	売上3	売場4	売上4	売場5	売上5	売場6	売上6	売場7	売上7	売場8	売上8	売場9	売上9
1	001 本店	元売																	
2	002 分店	元売																	
31	伊勢丹浦和支店	元売	寿司		塩干		うなぎ		惣菜焼魚										
32	伊勢丹新宿支店	元売	元売(シーフード・ソリューション)		寿司		寿司(シーフード・ソリューション)		鮪										
35	伊勢丹松戸支店	元売	寿司		塩干		惣菜焼魚												
36	伊勢丹府中支店	元売	寿司		塩干														

支店のアプリからDBに入れてもらったデータをCSVによる外部ソフトへの取り込み可能に

4-2. 商品発注・検品業務

<各店：iPad>

【店舗アプリ】



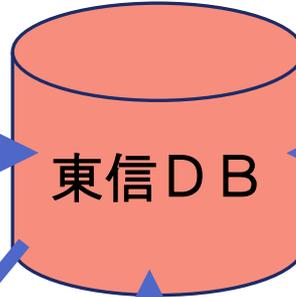
- ①商品発注
- ⑤仕入検品

【店舗Web】



- ・請求情報（確定データ）
- ・検収情報

<東信DB(本部)>

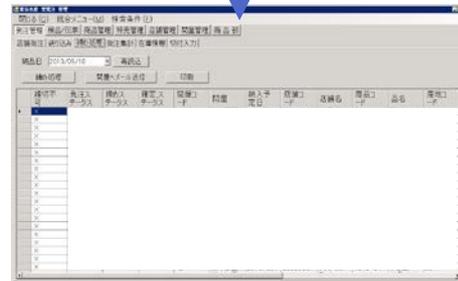


- ①商品発注
- ⑤仕入検品

- ③発注情報
- ④出庫
- ⑦検収情報
- ⑧請求書発行

- ②発注管理(締め処理)
- ⑥検品/伝票(確定)

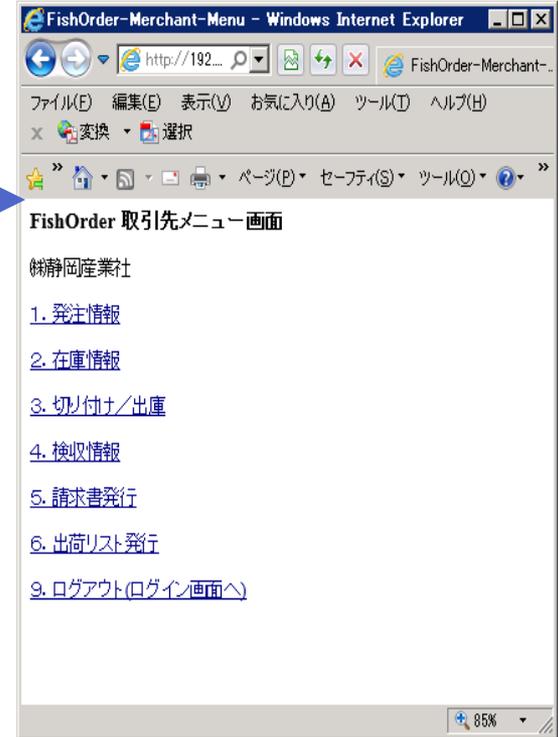
【本部画面】



- ②発注管理→締め処理
- ⑥検品/伝票→検品確定（確定から確定済みへ）
→伝票処理（伝票訂正）

<取引先：PC>

【取引先Web】



- ③発注情報（データダウンロード）
- ④切り付け/出庫（強制出庫）
- ⑦検収情報
- ⑧請求書発行（ダウンロード）

5. 導入効果

●売上入力

- ・売上結果を翌々に配信していたが、導入により翌日の昼過ぎには配信可能
- ・売上入力に対し2人体制を取っていたが、1人体制で作業が可能

●棚卸

- ・集計までに売上と同じく時間を要していたが、入力した段階で店舗を管理している部長に棚卸データを確認してもらうことが可能

●発注

- ・データ化することにより集計作業短縮の為、締め時間の短縮が可能
- ・発注内容をデータ化し取引先に送ることにより、受注ミスの改善が可能
- ・未来の発注ができるようになり、発注の忘れの防止が可能

●伝票

- ・伝票サインが必要だったが、検品業務をくみによる伝票サインが不必要
- ・伝票の突合が容易になり、戻ってくる伝票の管理が楽になった。
- ・仕入れ内容データ化による伝票がなくなり、伝票の保管場所がいらなくなった。

6. 参考メディア掲載

- 2013年10月 マイナビニュース
事例で学ぶiPhone/iPad活用術第143回
「鮮魚店チェーンにiPad導入で、店舗売上前年比10%UPを実現」
<http://news.mynavi.jp/series/iphoneipadkatsuyo/143/>
- 2013年10月 フジテレビ スーパーニュース
「薄くて軽いタブレット戦略」
- 2014年4月 マイナビ Web Designing
BtoBアプリ 業務支援アプリ・ケーススタディ
「水産物販売業の特殊な業態に合わせた売上管理&人件費管理」

7. 今後の展望

当社はより使い易いアプリを求め開発を続けていきます

F i s h O r d e r のアプリ向上と就業管理アプリの開発

- F i s h O r d e r は定貫商品(冷凍商品・パッケージ商品)を中心に運用しておりますが、不定貫商品(毎日値段の変わる相場制のもの)を発注できるように開発し、店舗内にあるすべての紙伝票をなくす。
- 当社の課題としてもう一つ問題となっているのが就業管理の問題。
鮮魚店特有の勤務体系がある為、勤務体系に即した勤怠アプリの作成する。

i P a d だけではなく G o o g l e G l a s s のような最先端の I T 機器を積極的に導入して、お客さまの目線からの小売方法をもっと研究していきたいと思っております。